

化学生物総合管理学会

特別講演会

差し迫った生命への脅威に如何に対処するか —リスク管理能力の向上に向けて—

開催趣旨 化学物質によるリスクのみならず新興感染症によるリスクなど社会の根幹を揺り動かしかねない脅威が高まっている。こうした差し迫った脅威に対して世界的にも色々な活動が進められているが、そうした動きの一端に触れることによって、日本における管理能力の向上のあり方について考える。

開催日時 2008年6月26日(木) 9:50~12:45
(受付開始9:20)

開催場所 (社)日本化学会 化学会館 7階ホール(東京都千代田区神田駿河台1-5)
JR御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口 徒歩3分
<http://www.chemistry.or.jp/kaimu/office/map.html>

内 容

9:50~10:00 **開会挨拶** 化学生物総合管理学会会長
増田 優氏

10:00~11:30 **Urgent Health Threat and Necessary Capacity Building**
(差し迫った健康脅威と管理能力の向上の必要性)
元米国環境保護庁次官
Johns Hopkins 大学教授
Lynn R. Goldman 氏

《逐次通訳付を検討中》

11:45~12:45 **ハザード評価におけるWHO国際癌研究機構(IARC)の役割と最近の動向**
名古屋市立大学大学院医学研究科教授
津田洋幸氏

定 員 先着100名(学会会員を優先とし、定員になり次第締切)

参加費 無料(事前登録制)

申込方法 氏名、所属、連絡先電話番号、メールアドレスを記載のうえ、
cb-jim2@cbims.net にメールにてお申し込みください。
折り返し参加証をお送りいたします。

主 催 特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

問合せ先 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター内

特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会 (TEL: 03-5978-5018)